

SSKP  
**はばたけだより**  
vol.89

編集 社会福祉法人おおぞら会 *アクティビティセンター*-はばたけ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9  
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274  
URL <http://habatake.jp/>



新企画！！

はばたけ班紹介

「てすき班 ~ 『漉き』の世界 ~」

てすきのよしあしを決めるポイントは、一瞬の感覚です。特に、漉き枠が水槽から出てくる瞬間は緊張の一瞬です。水槽に溶かした原料をていねいにかき混ぜ、漉き枠を沈めてすくい上げる作業、ゆらゆらと揺れていた原料が水が落ちていくにつれて徐々に浮かんでいきます。見えないものの中から何かをつかむような不思議な感覚、でもそれがいくつもの工程を経てはばたけの紙製品へと姿を変えていきます。

今日もはばたけのてすき職人たちは、漉きの世界に挑んでいます。思いを込めて、ていねいに・・・。

# あけましておめでとうございます

## 本年もよろしくおねがいたします



社会福祉法人おおぞら会理事長 西原 雄次郎

“走り続ける僕たちさ”

昨年は思い出すのも辛い出来事が次々に起こった年でした。台風、大雨、酷暑、大地震、そしてイラク戦争、無惨な殺人事件...、楽しいことよりも暗く悲しいことばかりが思い出される年でした。

そんな中で、当法人は何とか明るい未来を切り開きたいと、懸案のグループホーム開設に向けて努力はしたのですが、何とも理不尽な理由で開設には至りませんでした。私自身の力の無さを痛感させられ、首うなだれることが重なりました。利用者の皆さんの代弁者としての役割を十分果たせなかったことが最も悔いの残る点です。

利用者の皆さんお一人お一人の身边にも様々なことが起こり、ご不幸も重なりました。私たち誰もが一年一年歳を重ねていくわけですから避けられないことなのですが、利用者の皆さんの生活条件の厳しさをその都度痛感させられています。長崎で知的障害の方々と一緒に暮らしておられる近藤原理先生が、「共に育つ」ではなく「共に老いる」という状況だと書いておられたのを思い出し、大人の人たちの利用施設は、まさにそうだなあと感ぜられます。

こんな中で、明るい話題の一つに、はばたけのロックバンド“ルーキーズ”がCDを創ったことをあげることができるでしょう。オリジナル曲ばかり全8曲のCDは、私たちに元気をくれます。完成させるまでに大変な苦労があったと思います。私は職場の往復時に声を合わせて唱っています。作詞者の熱い思いが伝わってきます！はばたけに集う皆さんが、音楽だけではなく、各自の得意分野で個性を發揮して足跡を残して下さいます。

ところで、個人的には“走り続ける”という歌詞のところを、つつい“歩き続ける”と唱ってしまいます。後援会や利用者のご家族の皆さんに支えられつつ、時には立ち止まることもあります。利用者の皆さんに負けないように、でも走りすぎてころばないように、理事・評議員・職員一同、前進を続けたいと思います。

今年こそ、グループホームを開設したいです。新しい地域での生活支援の取り組みが何か一つでも開始できるよう頑張りたいです。これは理事長としての率直な気持ちです。皆々様の変わらぬ応援を切にお願いいたします。



# またやってみたいな!

～食べよう会を終えて  
生活支援委員会「食べよう会」

前号・前々号でご紹介した「食べよう会」の取り組み。自分たちの“生活”をあらためて振り返り“食”への興味・関心を深め、生活を豊かにしていくきっかけとして企画を進めました。

- 第1回 「スーパーでお昼ごはんをゲット!」...予算600円で食べたい物を選ぶ
- 第2回 「つくりかたいろいろ...」 ...「カレー」のお題で「作る」「買う」「デリバリーで注文」「弁当屋で買う」班に分かれて挑戦!
- 第3回 「つくってみよう&いってみよう」...材料から揃えて、レッツクッキング!  
作るのが難しい活動班は吉祥寺に出かけ外食!

様子については前号でお伝えしましたが、利用者全体の感想の中では、いちばん興味をもったのは「作ってみよう会」という結果でした。普段経験していないことというのは、逆にいい意味での緊張感があり、それゆえ印象深く達成感も大きかったようでした。

知的障害のある人たちにとって、体験することはとても大事なことです。イメージするということが苦手な人も多いので、そのテーマが“自分の将来”や“自立生活”となればなおさらです。昨年度の“語ろう会(暮らしを考える会)”だけでは得られなかった“身近な体験の中から生まれる実感”が、今回の取り組みでみんなに感じてもらえたかなと思います。きっかけや情報のサポート、そして体験・考える...こういったひとつひとつを大切に、これからも今の利用者の生活に沿った支援を考えて、生活への楽しみや自信を高めていってもらえるようにしていきたいと思います。

## オープンカフェでランチしよう!

行ってみよう会(第3回食べよう会企画)

はばたけや家でも車で移動することが多い活動班の人たちが、今回の“行ってみよう会”では、公共の交通機関を利用して吉祥寺の街まで行き、外食をしようという体験企画をたてました!...道中、さっそくバスや電車の中で空いている席にさっと座ったり、ドアのところに立って外を眺めたりと今までに見られないみんなの意外な面も見られました。吉祥寺の駅を出て入ったサンロードは平日でも人がたくさん!人ごみを嫌ったのか、何かを探していたのか、どンドンいろいろなお店に入って行こうとする人もいました。



<たまには電車もイイね>

昼食はオープンカフェ。予期せぬ長い待ち時間にじっと我慢...これも経験です。でもやっぱり待ちきれず厨房を覗きに行く人もいました。ようやく出てきたランチも、みんなあっという間に完食。...お腹がすいていたせいか、“おしゃれに、優雅にカフェランチ”...とまではいかなかったかな。

帰りも、吉祥寺駅で間違えて総武線に乗ってしまった利用者・職員の2人が、三鷹駅で乗り換えて中央線のみんなど偶然合流できた...などハプニングが尽きませんでした、みんないい笑顔を見せてちょっとした緊張感も楽しんでいたようでした。バスから降り、はばたけに向かう足取りは疲れて重そうでしたが、参加利用者にとって貴重な体験となったのではないのでしょうか!

ゆったりのんびり・・・

# 信州の自然に触れる旅

はばたけ秋の旅行・蓼科コース 10月6日(水)～8日(金)

金沢コースに続いて、総勢19名が向かった場所は、長野・蓼科方面。気楽にゆったりのんびり過ごしたい！という人向けのコースで、時計とにらめっこすることなくゆっくりペースの旅となりました。

豊かな自然に囲まれて、心も体もリフレッシュできた蓼科コースのみなさん！どんな3日間だったのかな？

## 1日目

3台の車に分かれて中央道をひた走り、ピーナスラインを抜けると見えてきたのは「白樺湖」。真っ青の空と湖の藍が爽快で、思わず深呼吸・・・

湖畔をゆっくり散策した後は、近くにある「すずらの湯」へ。お風呂上りの職員に、ビールの自販機の前でにやにやしながら、「酔っぱらい！！」と一杯を勧めるのはこづか君でした。



温泉でポカポカした後は、2日間お世話になるペンション「山ぼうし」へ。「お待ちしております！」と温かく歓迎され中へ入ると、そこにはウッディな空間が広がり、手作りのぬくもりがいっぱい！まるで森の中の隠れ家のような宿で、みんな一瞬にして気に入りました。



さてさて夕食の時間・・・テーブルには食べきれないほどのごちそうがズラリ！オーナーの愛情あふれる手料理に、おきやまさん感激！

食後のデザートも、もちろん手作りアイスクリーム。あまりの美味しさに、よしのさんも「シアワセ」とにんまりご満悦でした。

夕食後は、アットホームな雰囲気の中くつろぎタイム。こたつでのんびりしたり、トランプしたり・・・。

いつもの旅行なら、「夜はカラオケッ！」となるところですが、ここは静かな森の中・・・  
ギターを囲んで小さな音楽会が始まりました。  
あれ？ギターを抱えているのは誰～だ？



## 2日目

清々しい朝の空気をたっぷり吸ったら、さあ出発！

まず向かった先は、東京ドーム45個分もの広大な牧草場が広がる「長門牧場」。

爽やかな高原の中でのびのびと生活している牛や馬たちを、おいわさんも興味深々で眺めていました。

新鮮な牛乳から作られたソフトクリームの味は格別でしたね、はしもとさん！



お昼は「蓼科ピラタスの丘」でパ-ベキュー！お皿に山盛りだったお肉も、あっという間にみんなの胃袋へと消えました。

お腹いっぱいになったら、ロープウェイに乗って山頂駅まで空中散歩。こがさんやしみずさんも、岩塊の美しい自然庭園を散策しました。

オプションの「アミューズメント水族館」では、世界の珍しい魚たちに出会うことができました。

## 3日目

最終日は朝からどしゃぶり・・・

宿のオーナーさんとの別れを惜しみながら、一行が向かった場所は、小淵沢にあるテーマパーク「八ヶ岳・大地の園」。

園内にはカラフルな花々が咲きほこり、優雅な雰囲気の中で散策となりました。

お土産を沢山買ったら、そろそろこの旅も終わり・・・

帰りの高速道路では、暴雨でヒヤヒヤものでしたが、無事東京への帰路に就きました。

大自然にいやされ、宿の温かいもてなしにいやされ、大満足の3日間・・・

また、仲間とのステキな思い出のページが増えました。



今回、旅行に参加して下さったボランティアのみなさん、どうもありがとうございました。

## おおぞら会後援会ニュース



…あけましておめでとうございます…

昨年中は、社会福祉法人おおぞら会後援会の活動にご支援・ご協力いただき、まことにありがとうございました。福祉に限らず、先行き不透明な情勢ですが、新年あらたな気持ちで前進していきたいものです。はばたけにとっても、今年はグループホームの開設をはじめ新たな事業展開を目指し飛躍の年になるよう、後援会としても皆様のお力をお借りしながらバックアップしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくおねがいいたします。

おおぞら会後援会会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました。

2004年9月25日から12月15日までの間に、個人6名の方からご入会・ご更新をいただきました。こころより御礼申し上げます。

これからも、皆様の暖かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

\* 今回のはばたけだより郵送分につきまして、2004年度分の後援会費納入用の振込用紙を同封させていただきました。手数料が無料になりますので、どうぞご利用ください。なお、すでにお振込みいただいた方には、心よりお礼申し上げます。

### 法人(おおぞら会)へのご寄付をいただきました

2004年10月16日から12月15日の間に、団体1社より社会福祉法人おおぞら会へご寄付をいただきました。

大切にに使わせていただきます… **ありがとうございました**

#### — 訃報 —

去る12月6日に、はばたけの利用者 こいけさんのお母様にご永眠されました。

生前、家族会役員としてはばたけの活動に積極的に関わってくださり、いつも明るい笑顔で利用者・職員に声をかけて下さったお母様の突然の訃報に、私たちも驚くばかりでしたが、今はお母様が天国で安らかにゆっくりと過ごされることを願うばかりです。そして、お母様に安心していただけるよう、ご家族のこれからを、はばたけとしてしっかりと支えていきたいと思っております。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

社会福祉法人おおぞら会

## 活動日誌 11月1日(月)～12月27日(月)まで

11月	1日	(月)	家族会懇談会	12月	1日	(水)	生活支援委員会
	4日	(木)	ルーテル学院大学愛祭(販売)		3日	(金)	がんばるDAY、興味別外出(ディズニランド)
	5日	(金)	職員会議		7日	(火)	家族懇談会
	9日	(火)	第三者委員相談		10日	(金)	職員会議、生活支援委員会
	11日	(木)	第三者委員相談		15日	(水)	実践交流会
	16日	(火)	肝炎検査(～19日)、第三者委員会		22日	(水)	嘱託医検診
	19日	(金)	職員会議		24日	(金)	クリスマス会
	25日	(木)	生活支援委員会		27日	(月)	おおそうじ、職員会議
	28日	(日)	ひまわりバザー(販売)		28日	(火)	冬休み(～1/4)

### 来訪された方々

TKC・吉田様 みんなの家・内野様 第三者委員・正田様、佐藤様、杉本様 ハネット・木村様  
 ほのぼのネット井の頭様 ノアノア・榎本様 NPO 法人人材開発機構・本田様 調布希望の家・千野様  
 健康センター・笠原様 三鷹市地域福祉課・九尾様 日建工業(株)・片岡様 日の丸防災様  
 あしたの会第1福祉作業所様 (株)DSD・川村様 NPO 法人 DEN・宮島様 ゆばた作業所様  
 NPO 法人マイアイルフュー・要様 支援センターぽっぷ・宮城様 第一生命労働組合様  
 もえぎの会・齋藤様 府中朝日養護学校・白瀬様 済美会・曾田様 北野ハビネスセンター・天白・村山様  
 NPO 法人だれもがともに小平ネットワーク・藤内様

### 実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

日大通信部・渡邊様、八田様、鍵小野様、斉藤様、山口様 府中朝日養護学校・橋本様

### ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

佐々木久人様 岡村正実様 榛澤様 後藤幸雄様 鈴木智之様 桂様 相沢様 松下様  
 佐々治様 青木様 古田様 八田様 小野様

## 三鷹市民駅伝に参加します！



～駅伝参加メンバーの4人！応援よろしく！～

年明け早々ですが、またまた駅伝の季節がやってきました！

今回参加するのは、ささきさん、いいじまさん、せとさん、そして今回初参加のきくいさんです。

はばたけが三鷹駅伝に参加して今回で3度目、昨年から利用者4人でたすきをつなぎ、完走を果たしています。昼休みの練習も始まり、冬の青空の中気持ちいい汗を流しています。

今回初参加のきくいさんは、「頑張ってゴールしたい！」とコメントを語っています。みなさん当日は応援よろしくをお願いします！

☆**第13回、三鷹市民駅伝大会は2月6日(日)の開催です！**

i n f o r m a t i o n

# まようされん第28次国会請願署名 &募金運動にご協力を!!

障害のある人びとの地域での暮らしを支えている小規模作業所が、今や全国に約6000カ所。2004年、第159回通常国会では、障害者基本法が11年ぶりに改正され、小規模作業所の存在意義と行政の責任が明確に位置付けられました。

しかし小規模作業所に対する補助金は2年連続で1割削減され、小規模通所授産施設運営費も削られました。

また、2003年度からスタートした支援費制度に関しては、社会資源の少なさが浮き彫りになっています。

こうした問題点を抜本的に改善することを求め、今回も国会請願署名・募金運動を行なっています。

障害のあるひとたちが、安定した地域生活を維持できるよう、ぜひ署名と募金にご協力をお願いします。

しめきり 4月中旬まで

お問い合わせ・署名用紙送付先はこちらまで・・・

アクティビティーセンターはばたけ 国会請願係

〒181-0014 三鷹市野崎3-17-9  
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274  
(担当 村井)

集められた募金は、署名運動の資金、全国大会への利用者の参加費用、各作業所の運営費として有効に活用させていただきます。

## [編集後記]

先日、自転車を修理した。約3年間の激走生活に耐えかねた我が愛車は、ランプが壊れ、前輪ブレーキも切れた。チェーンは伸びてしまい通勤中に外れるためにバッグに修理用の軍手をしのばせる末期的な有様だった。「これはいかん!」とようやく自転車屋に駆け込んだのであった。店の老主人は自転車を見るなりスイスイと直し始め、20分足らずでランプ・ブレーキ・チェーンと完治させてしまった。僕は主人の腕に感激した。長年の経歴を思わせるような黒い手の中に光る職人魂と、おかみさんとのダブルの笑顔。今まで通り過ぎていた道の中に新たな顔が浮かぶ嬉しさを覚えた。(うらべ)

発行 障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アクティビティーセンターはばたけ

編集責任者	三浦 明雄	頒
編集委員長	伊東 暁子	価
編集委員	卜部 禎生	50
	深澤実希子	円